

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

レオカーナ®を用いた血液吸着療法時の適正な治療条件の基礎的検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 莖田 昌敬（循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 特任講師）

【研究の目的】

本研究では、当大学で神経疾患や肝疾患、腎移植前の術前治療などの通常診療において単純血漿交換を実施された患者において、血漿交換時に産生される排液（血漿）を使って、血液流量と時間で規定される血液処理量がレオカーナ®という他の血液浄化療法における治療効果に及ぼす影響を明らかにすることを目的とする。この研究は重症な閉塞性動脈硬化症という病気で下肢の切断が必要な患者さんに対する適正な治療条件の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2023年4月1日から2025年12月31日までの間に愛媛大学医学部附属病院で単純血漿交換を実施する患者さん

（利用するカルテ情報） 原疾患、血液検査データ（免疫 Glob や Alb 値、感染症の有無など）、治療状況 等

（利用する試料） 血漿交換時に産生される本来廃棄される排液（血漿）

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 莖田 昌敬

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院循環器呼吸器腎高血圧内科 莖田 昌敬

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5303